

新型コロナウイルス感染症関連情報

※12月23日現在の情報をもとに作成しているため、急遽変更となる場合があります。

問 新型コロナウイルス感染症対策室 ☎75・6676



市ホームページ

年代問わず感染対策を徹底し、感染予防に努めましょう

やっけるつもりは要注意！感染対策の再確認を

●冬でも十分な換気

天気の悪い日やエアコン使用時なども、こまめに換気をしましょう。屋内などで人と一緒にいるときは、広い空間でも換気を徹底しましょう。換気が不十分な密閉空間は避けましょう。



●不織布マスクの着用

人と会話をする際は着用しましょう。マスクをしていても最低1メートルは人との距離を取りましょう。

屋内 距離が確保でき会話をほとんど行わない場合を除き、マスクの着用をお願いします。

屋外 季節を問わず、マスク着用は原則不要です。

※感染を最大限防ぐためできるだけマスクを着用したい方、触覚・嗅覚などの感覚過敏や呼吸器機能の障害などによりマスク着用が困難な方など、さまざまな方がいます。他者に配慮し、お互いの対応を尊重していただくようお願いします。

●手指消毒・手洗い

飲食の前、トイレの前後、ドアノブ・スイッチ・パソコンなどの共用部分に触れた後などは手を洗いましょう。

●体調に異変を感じたら外出は控えましょう

のどの痛みや発熱などの症状がある場合は、感染拡大を防ぐためにも、外出を控えてください。

予防接種済証は大切に保管してください

新型コロナワクチンを接種した際に渡される「予防接種済証」は、接種を証明する書類で、日本国内で利用が可能です。予防接種済証を紛失した方や、海外用の接種証明書が必要な方は、アプリによる接種証明書(電子版)の電子交付や、コンビニ・市の窓口での交付が可能です。

新型コロナワクチン接種証明書が取得できるコンビニが増えました

- 対応店舗 全国のコンビニなど
※市内ではセブンイレブンに加えて、12月15日からローソンが対応店舗に追加されました。
- 対応時間 6:30~23:00(土日祝日を含む)

取得にはマイナンバーカードと接種証明書発行料(120円/部)が必要です。詳細は厚生労働省ホームページをご覧ください。



日本国内用
接種証明書(イメージ)



海外用および日本国内用
接種証明書(イメージ)



厚生労働省ホームページ
(電子交付および
コンビニ交付)



市ホームページ
(市窓口・郵送による交付)

ワクチン接種がお済みでない方へ

接種券を紛失された方や接種券が届かない方は
コールセンターへお問い合わせを

現時点では、予防接種法上の接種期間は2023年3月31日
までです。速やかなワクチン接種をご検討ください。

上田市新型コロナワクチンコールセンター

(9:00~17:00)

☎0570-079-567 (ナビダイヤル)

☎0268-75-7181



12月議会初日に提案した議案の概要

- 条例案(8件)
上田市職員の定年等に関する条例等中一部改正について ほか
- 令和4年度補正予算(8件)
一般会計(1件)、特別会計4件、企業会計3件
- 事件決議案(5件)
公有財産の無償譲渡について ほか

新型コロナウイルス感染症に対する取組

今冬のインフルエンザとの同時流行による医療ひっ迫を回避し、社会経済活動を維持していくため、県は「新型コロナウイルス第8波克服」県民共同宣言を11月22日に発出したしました。上田圏域も高い警戒感を要する感染状況にあり、1日当たりの新規陽性者数が510人に上るなど、第7波を大きく上回る状況です。

市では、感染警戒レベルに応じた「新型コロナウイルス感染症対応方針」に基づき、感染拡大防止対策を進めています。高齢者など重症化リスクの高い方を守り、希望される方がワクチン接種をしていただける

市民の皆さまには、改めて感染防止対策の徹底をお願いし、一日も早い収束に向けて、共にこの危機を乗り越えられますようお願いを申し上げます

令和4年12月市議会定例会市長提案説明(要旨)

問 行政管理課 ☎23・5163

令和5年度当初予算編成に向けた取組

国の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」などを踏まえ、引き続き感染対策を講じながらロシア・ウクライナ情勢や円安の影響による物価高への対策などを講じていくことが必要であると考え、令和5年度予算編成方針を公表し、予算編成作業に着手いたしました。令和5年度は「第二次上田市総合計画(後期まちづくり計画)」の3年目となり、目指すべき将来都市像として掲げた「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健康都市」をさらに前に進めていくため、市民の皆さまの命と暮らしを将来にわたり守り続けていくことができるよう、アフターコロナを見据えた予算編成を進めます。また、公約である「上田再構築プランver.2.0」を踏まえ、予算

編成方針における重点分野を具体化する事業に重点的な財源配分を行い、さらに、人口減少・高齢化への対応などの課題を克服するため「上田市スマートシティ化推進計画」に沿って、国と歩調を合わせデジタル化の推進を加速化させてまいります。

脱炭素社会・ゼロカーボンシティの実現に向けた取組

国の「地域脱炭素ロードマップ」では、一定のエリアにおいて2030年度までに家庭や事務所などで使用する電力を再生可能エネルギーの活用と省エネルギー設備の導入などにより脱炭素化を図り、その取組の推進により地域課題の解決や住民の暮らしの質の向上を目指す地域として「脱炭素先行地域」を選定することとしております。「脱炭素先行地域」の選定により、国からの総合的な交付金を活用し意欲的な脱炭素の取組を複合的かつ複数年にわたり、計画的に柔軟に実施することが可能となります。市では、施策の一つとして、上田市ゼロカーボンシティ推進本部に「脱炭素先行地域」のエリアを検討するワーキンググループを設置し、具体的な検討を進めているところです。

また、上田城跡をはじめとする歴史的建造物や、地域固有の活動・営みを活かしたまちづくりを推進するため、現在「上田市歴史の風致維持向上計画」の策定を進めております。

組織改正について

グローバルな変化が地方自治体に直接影響を与える時代に突入し、行政が担わなければならない範囲は高度化、複雑化してきており、これまでに行政課題へ積極的かつ柔軟に取り組み、着実に「第二次上田市総合計画(後期まちづくり計画)」を進めていくため、組織改正を行います。ゼロカーボンシティの推進に向けた「環境部」の設置、商工観光部と農林部を整理統合した「産業振興部」の設置、文化、スポーツ、観光など市の魅力発信を集約させるための「文化スポーツ観光部」の新設など、市が持つ資源を最大限活かすとともに、職員の適正な配置や育成を通じて組織を最適化し、効率的・効果的な施策につなげてまいります。また、上田城跡復元に向けた担当部署の設置や学校保健給食課の新設、緊急事業への迅速な対応など、その他の部局においてもさまざまな行政課題に適切に対応していけるよう、組織体制の再構築を進めてまいります。

上田城跡整備事業に対する取組

市民会館跡地における「武者溜り整備事業」に向けた準備として、11月中旬から旧市民会館駐車場の発掘調査を開始しました。この発掘調査により石垣などの痕跡について確認し、その成果をもとに江戸時代の景観の再現を進めます。発掘現場は、市民の皆さまや観光客の皆さまにも見学していただけるよう、現場をフェンスで囲み、常時公開することとし、ホームページやSNSでの情報発信などを通じて、上田城跡整備の機運を醸成したいと考えています。

現在、大学組織の再編に取り組んでいるところであり、特に理工系学部の新設に向け、設置構想をとりまとめているほか、施設整備の基本計画に着手しているところです。今年度は、法人運営の目標や指針を示す第1期中期目標期間の最終年度となることから、第2期中期目標の策定に向け「上田市公立大学法人評価委員会」を3回開催し、11月7日には、委員長から大学の基本である「教育」および「研究」、そして公立大学としての使命である「地域貢献」などを盛り込んだ「第2期中期目標(案)」に関する意見書をいただいたところで、この意見書を最大限尊重し、第2期中期目標をとりまとめたことから、今定例会に関係議案を提案いたします。

市ホームページ



動画

